

**憲法しんぶん 速報版**  
発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2021年4月30日(金)  
NO. 1163号  
本号4頁

## **国民投票法改正案、自民・公明が5月6日採決へ**

報道によりますと、自民・公明両党は憲法改正手続きに関する国民投票法改正案を5月6日に衆院憲法審査会で採決し、11日に衆院を通過させる方針を固めたこと、複数の与党幹部が明らかにしたとのことです。

4月22日の衆院憲法審査会の前に幹事懇談会が開催され、与党から「6日に審査会を開催し、改正案の採決を行いたい」との提案があり、立憲・共産は6日開催には合意しましたが、採決には反対し、合意しませんでした。それにも関わらず、強行採決しようとしています。これまでの毛峰審査会のルールを無視して強行しようとする姿勢は許されません。是非とも、傍聴行動・昼の緊急集会にご参加いただきますよう、お願いします。



22日の衆院憲法審査会

### **◇5月6日の衆院審査会 午前10時から開催されます。**

(案件) 日本国憲法の改正手続きに関する法律の一部を改正する法律案 (逢沢一郎君外5名提出、第196回国会衆法第42号)

- ・日本国憲法及び日本国憲法に密接に関連する基本法制に関する件 (日本国憲法及び憲法改正国民投票法を巡る諸問題)

**◇傍聴を希望される方は、憲法会議に5日午後3時までFAX(03-3261-5453)でお知らせください。**

## **6日の総かがり行動実行委員会の緊急行動について**

総かがり行動実行委員会は、憲法審査会の改憲手続き法の議論が緊迫しており、衆議院憲法審査会での強行採決もあり得る状況であるとして、5月6日(木)と13日(木)、正午から国会議員会館前行動を実施します。

ただし、6日は共謀罪NO! 実行委員会の「6日行動」があり、12:00~12:30 総かがりの憲法審査会に対する国会前行動、12:30~13:00 共謀罪NO! 実行委員会の「6日行動」に2つに時間を分割して前半で行動を入れます。

行動のタイトルは「改憲手続法(国民投票法)7項目修正案は抜本的再検討を! 強行採決するな! 5・6国会議員会館前行動」です。是非、両行動にご参加ください。

## **衆院憲法審査会6日の国民投票法改正案採決阻止に向け、FAX要請行動等に取り組みましょう。**

与党と維新の会らは、6日の衆院憲法審査会で「審議は十分に尽くされた」として、旧国民民主の改正案や、野党から出されているCM規制問題などは論議せず、「まずは公職選挙法並みの7項目の改正案」を採決させようとしています。

それを阻止するために、憲法共同センターは「国民投票法改定法案強行採決反対の取り組み」として、FAX等による議員要請行動等と呼びかけています。是非、一人でも多くの皆さんがFAX要請行動等にとりくまれますよう、呼びかけます。

**憲法共同センターの呼びかけた行動**

## 国民投票法改定法案強行採決反対の取り組み

### 1. 議員要請について

別添の要請書を参考に、憲法審査会委員の立憲、共産、国民各党議員に要請を行ってください。できましたら、4月中の取り組みをお願いいたします。

### 2. 改憲発議緊急署名の国会提出について

5月19日（水）の19日行動時に署名を提出する準備を行います。5月14日（金）までに事務局に送ってください。

## 簡単な例文

・改憲手続き法の強行採決反対。 ・自公維の7項目改正案は抜本的再検討を！

**○憲法審査会委員のFAX番号は、憲法会議のホームページに掲載していますので、ご活用ください。**

## **参院憲法審査会開催 共産党山添氏「コロナ危機に便乗して改憲論議をあおるのは、究極の火事場泥棒だ」と批判**

参議院憲法審査会で、3年2か月ぶりに開催され、各党会派の憲法についての意見表明と自由討議（1人3分）が行われました。各党会派の憲法についての意見表明です。

**自民 石井正弘氏** 現行憲法は、現代社会にそぐわない部分が生じており、自民党は『自衛隊の明記』など4項目の改正案を示している。コロナ禍でのオンライン審議の在り方など、新たな課題も含め議論したい。

**立民 小西洋之氏** 国民投票法は、CM規制の在り方の議論をしないまま改正することは許されない。国難での国会の役割は不要不急の改憲論議ではなく、国民を救う立法の実現に全力をあげることだ。

**公明 西田実仁氏** 国民投票法改正案は、与野党で大きな異論はないと認識しており、早期成立を図るべきだ。CM規制は、表現の自由や公正・公平の確保の観点も踏まえて議論していくべきだ。

**国民 矢田稚子氏** 国民投票法改正案が、衆議院で採決されれば参議院でも審議すべきで、CM規制などの課題は付帯決議などで対応できるのではないか。立場を超えて議論していくべきだ。

**共産 山添拓氏** 国民世論が改憲を求めない中、審査会を動かす必要は無い。コロナ危機に便乗して改憲論議をあおるのは、究極の火事場泥棒だ。緊急事態条項を創設すれば、人権抑圧や政府への異論が封じられる危険がある。開催ありきの東京五輪など事実と科学に基づかない政治を正すうえでも国会審議が極めて重要であり、緊急事態条項は危険で無用だ。民主主義を軽んじる強権政治は終わりにすべきだ。

また、自由討議で共産党の吉良よし子氏は、3度の緊急事態宣言で苦境にある国民の声を代弁し、「必要なのは改憲ではなく、憲法25条などの憲法の理念を実現する政治だ」と述べました。

## **「任命拒否の理由説明を」候補6人情報公開請求 学術会議**

日本学術会議の会員候補6人の任命を菅義偉首相が拒否した問題で、任命されなかった大学教授を含む法律家1162人が26日、拒否に至った経緯に関する公文書の開示を求め、内閣官房と内閣府に情報公開請求しました。

また、6人のうち早稲田大の岡田正則教授（行政法）と東京慈恵会医科大学の小沢隆一教授（憲法学）は同日、東京都内で記者会見。岡田教授は「学術会議の推薦を、菅総理は基準も根拠もなく否定した。きちんと説明してくださいということだ」と訴えました。また、小沢教授も「学術会議の独立性を大きく踏み込んでいることについて、開示請求で明らかにされることを強く期待している」と話した。6人は、任命に関して内閣府などが保有する個人情報の開示を求める申し立ても同時に行いました。

また、情報公開請求では、杉田和博官房副長官と内閣府との間でなされたやりとりの記録や、任命しなかった根拠や理由が分かる文書全ての開示を求めました。不開示とされれば、不服申し立てや提訴を検討しているとしています。

## **総選挙に向け、野党共闘による選挙協力に動き出す**

立憲民主党の枝野幸男代表は27日、国会内で共産党の志位和夫委員長、国民民主党の玉木雄一郎代表と相次ぎ会談しました。支援する候補を一本化した衆参3選挙で全勝したのを受け、次期衆院選でも野党共闘を推進する方針で一致しました。今後、各党間で候補一本化に向けた協議を加速する見通しです。

枝野氏は志位氏とは約30分間会談し、立憲の福山哲郎幹事長、共産の小池晃書記局長が同席しました。志位氏は会談で「政党間の共闘は、対等平等、相互尊重を基本姿勢とすべきだ」と求め、枝野氏は相互尊重に賛意を示しました。衆院選に向け、立憲は共産と67選挙区で競合し、候補者調整が最大の課題となっています。衆参3選挙では立憲や国民の支持母体・連合と共産との確執が顕在化しましたが、「連合と共産、どちらの協力もないと勝負にならない」（立憲関係者）との見方は根強く、立憲は難しいかじ取りを迫られています。

これに先立ち、枝野氏は玉木氏と約20分間会談しました。立憲は3選挙区で国民と競合しており、「一本化に向けて原則として競合を避ける。これを早く進めよう」と伝えました。これに対して、玉木氏は新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済対策を政府に共同提案し、拒否された場合は「速やかに内閣不信任決議案を出すべきだ」と求めました。枝野氏は内閣不信任案について、記者団に「申し上げる段階ではない」と述べるにとどめました。

枝野氏は次期衆院選の選挙区候補の一本化について「3党とも違いがあるので、全ての選挙区、全ての党で一本化は難しいが努力を重ねたい」と語りました。

### **市民連合@新潟 緊急アピール**

#### **3選挙(北海道2区・長野・広島)での勝利について**

2021年4月26日

4月25日、3つの国政選挙で野党統一候補が当選を果たしました。当選した、衆議院北海道2区補選の松木けんこう氏（立憲民主党）、参議院長野選挙区の羽田次郎氏（立憲民主党）、広島選挙区の宮口はるこ氏（諸派）は、いずれも、「市民と野党」の統一候補でした。

これらの勝利の背景には、菅政権の新型コロナウイルス対策の失敗と無策振りへの有権者の不満や不信があったことは言うまでもありません。さらに、「政治と金」の問題も浮上しました。北海道2区の補選は、自民党議員だった吉川貴盛元農水相（収賄罪で在宅起訴）の辞任に伴う選挙であり、広島の再選挙は河井案里前参議院議員（自民党を離党）の当選無効に伴う選挙でした。

この勝利に共通することは、「市民と野党の共闘」を追求する市民団体（「戦争させない市民の風・北海道」「信州市民アクション」「広島2,3,5区市民連合」）と候補者、政党とが相互に「政策協定」を結び、その「政策」実現を広く有権者に訴えたことにありました。この「市民と野党」の共闘による3つの勝利は、次の総選挙を大きく方向づけるでしょう。

今回、選挙前の今月6日に、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」（市民連合）は、各立憲野党に申入れを行い、「憲法の擁護」「コロナ克服の医療体制の強化」を含む6項目の「共通政策」と「候補者の一本化」を要望しました。また、私たち「市民連合@新潟」も、昨年8月に「次期衆院選に向けての政策要望」を公表し、今月17日には4区の菊田真紀子衆議院議員（立憲民主党）と政策協定を締結、新潟の「市民と野党」統一候補の第1号が誕生しました。

このように、立憲主義や個人の尊厳を重視する〈共通政策〉と共闘とによって、この国全体に新しい政治への道が切り拓かれようとしています。この度の北海道・長野・広島における3つの勝利は、次の総選挙における市民政治のさらなる躍進と政権交代の可能性をも指し示しています。今回の勝利に学びつつ、新潟においてもさらに広範な共闘の可能性を追求していきたいと思えます。

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める新潟市民連合（市民連合@新潟）

【共同代表】磯貝潤子 金子修 佐々木寛 成嶋隆 水内基成

## 5.3 憲法記念日各地のとくくみ

### **大阪** 輝け憲法! 平和といのちと人権を! おおさか総がかり集会

日時 5月3日(月・祝)14時開会

企画 ○野党各党からの挨拶 立憲民主党、日本共産党、社民党、れいわ新選組

○市民アピール ・核兵器禁止条約 ・辺野古 ・ジェンダー ・コロナ・格差・貧困

会場 扇町公園での集会は行いません!

YouTube 配信でライブ配信します。URL は、 <https://youtu.be/mCPIfEQyOMA> です。

ライブ会場 大阪グリーン会館2階大ホール 実行委員とスタッフのみ参加

### **高知** 憲法施行 74 周年県民の集い

日時 5月3日 14:15~16:30

会場 高知城ホール4階

講師 八頭菜津紀さん「紛争地、被災地の声から考える平和の姿」

参加費 1000円 リモート参加可能



### **埼玉** 5月30日(日) 10回目の「オール埼玉総行動」

○5月3日は国会前憲法大行動に参加

○5月30日(日)10時から 10回目の「オール埼玉総行動」

北浦和公園をメイン会場に、県内15の小選挙区地域でいっせいに行動する。

### **愛知** 「憲法施行 74 年記念 市民のつどい」

日時 5月3日(月・祝)13時開会

会場 名古屋市公会堂

第一部 講演 水島朝穂さん(早稲田大学法学学術院教授)

「改めて改憲について考える—激動する世界と日本」

第二部 スタンドアップ・コメディ 松元ヒロさん スーパーライブ

入場料 一般1300円 中高生等900円 Web視聴700円

### **岐阜** 5・3 憲法施行 74 周年記念 岐阜講演会

日時 5月3日(月・祝)14:15~16:00 資料代 500円

会場 長良川国際会議場4階会議室

講演 富田宏治さん(関西学院大学教授) 「憲法9条と核兵器禁止条約」

### **東京** PEACE FESTIVAL 5・3 憲法大行動

日時 5月3日(月・祝)13:30~14:45

会場 国会議事堂正門前・オンライン中継

企画 ・各野党からのスピーチ

・ゲストスピーチ 作家の雨宮処凛さん、日本学術会議元会員の羽場久美子さん、  
日本体育大学の清水雅彦さん、江戸文化学者の田中優子さん、  
市民連合の山口二郎さん。

※オンラインでの視聴は、「平和といのちと人権を!5・3 憲法集会実行委員会」のホームページ  
などからできます。

### **北海道・なよろ** 第69回なよろ憲法記念ハーフマラソン

日時 5月3日(月曜日・憲法記念日)スタート/9:45 ※雨天決行

会場 浅江島公園特設ステージ(北海道名寄市西13条南2丁目)天塩川河川敷特設コース

呼びかけ 今年で69回目を迎える、道内で最も歴史のあるマラソン大会です。天塩川の雄大な  
景色を望みながら、阿部雅司(名寄市スポーツ振興アドバイザー 冬季リレハンメルオリンピック  
クノルディック複合金メダリスト)プロデュースのコースを楽しく走ってみませんか?